

制度財源検討会（第3回）開催のお知らせ

2007年の地域公共交通活性化再生法成立後10年超経過し、また、交通政策基本法制定(2013)からも相当経過しています。しかしながら、地域の公共交通は充実するどころか衰退が問題となっています。交通分野だけの充実に向けての問題、課題の指摘のみならず、人口減少や新技術の台頭を見据えた新たな方策を考えなくてはならないようになりました。

そこで、大都市圏縁辺部及び地方都市の地域公共交通サービスに焦点を当て、民間の自由競争と独立採算を基本とする日本の常識(世界の非常識)を制度的に見直すことを目標とします。それには、単に独立採算制を議論するだけではなく、運輸連合(独語圏)、総合交通局(英国)等の合意形成方策を含めた方策を手本に検討しつつ日本型の解決法を構想するべきと考えます。

第1回は宇都宮浄人関西大学教授より「地域公共交通の制度改革の方向」として検討会の開催趣旨と問題提起をいたしました。続く第2回では、「地域公共交通イノベーションの課題」として、地域公共交通活性化及び再生法等の再検討経過と制度改革に向けての課題につきまして、国土交通省総合政策局交通計画課長蔵持京治氏よりご報告をいただきました。

第3回では、地域公共交通事業を広く展開されている(株)みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO 松本 順 氏をお迎えし、近年の環境変化のもと路線バスを中心として進められている交通事業の経過と方向から、生産性向上、利便性向上の取り組みのご紹介と今後に向けてPFI方式導入試案についてお話を伺うこととし、引き続きご参加の皆様と意見交換を行うことといたしました。

皆様には、「制度財源検討会」への引き続きの開催呼びかけですが、奮ってご参加をお願いしたいと思います。

NPO 法人 エコエネルギーによる地域交通システム推進協会(AREEV)理事長
人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)代表幹事
竹内 佑一

● 制度財源検討会 第3回

日時 2019年6月24日(月) 18時30分より

場所 中央大学駿河台記念館 430教室

<http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/surugadai/>

講師 株式会社みちのりホールディングス
代表取締役グループ CEO 松本 順 氏

題目 「路線バス事業の持続可能性の確保に向けて」

● 参加費 1,000円(資料代)

● お申込み Eメールにてご芳名、ご所属を下記アドレス宛てにお申し込みください。
人と環境にやさしい交通をめざす協議会 小田部(コタバ)

申込先 ⇒ a.kotabe@k8.dion.ne.jp